

# 特定一般教育訓練明示書

講座の名称	北陸観光コア人材育成スクール			
実施方法	①(通学)(昼間)・夜間・土日) ②通信 スクーリング(回数 回)			
指定講座番号(15桁)	1720074	—	2220013	— 2
講座の創設年月日	特定一般教育訓練給付金 対象講座の指定期間	過去一 年の講 座実績	入講者数(13人)	修了者数 (13人)
	令和3年10月6日	令和7年9月30日まで		
訓練期間	4ヶ月		総訓練時間	74時間
<b>1. 教育訓練目標</b>				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		履修証明書		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		北陸先端科学技術大学院大学		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認める者		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業者等のミドルマネージャー</li> <li>・観光関連業</li> <li>・業種を超えた連携事業</li> <li>・イントレプレナーシップ、独立開業等</li> </ul>		
<b>2. 教育訓練の内容</b>				
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名		
※別紙参照				
<b>3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>				
①受講するに当たって必要な実務経験等		観光事業等に従事するミドルマネージャー・幹部候補者		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認める者 日本語能力がネイティブレベルの者		
③その他				
<b>[ 特記事項 ]</b>				

# 特定一般教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	13	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	13	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	—	人	受験率(③/②)	—	%
④ ③のうち合格者数	—	人	合格率(④/③)	—	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	13	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	100	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		13	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	13	人	②A: 就業者計	13
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	13
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	7	人		
	4 円滑な転職に役立つ	1	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	7	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	13
	2 おおむね満足	6	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

職務内容変化等の処遇が改善した者2名

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	事前または事後の課題提出を求め、確認する。
(通信制講座の場合)	
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

# 特定一般教育訓練明示書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>			
(1) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率80%以上、課題提出点・評価点などの総評価点の60%以上の取得。その他、試験不合格の場合の補講・追試は認めない。		
(2) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	事前または事後の課題提出を求め、確認する。		
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問票(ミニットペーパー)を随時受け付け、希望に応じて個別に対応を行っている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	受験情報・資格関連の求人情報等の発信		
<b>8. その他の事項</b>			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学		(代表者名: 寺野 稔 )
住所及び連絡先	石川県能美市旭台一丁目1番地		TEL 0761-51-1111
施設名称及び施設長名	北陸先端科学技術大学院大学 リスキル・リカレント教育センター		(施設長: 丹 康雄 )
住所及び連絡先	石川県能美市旭台一丁目1番地		TEL 0761-51-1111
苦情受付者	氏名 亀野 佳恵 所属 教育支援課	事務担当者	氏名 楠 千紗 所属 教育支援課
連絡先	TEL 0761-51-1083	連絡先	TEL 0761-51-1084
特定一般教育訓練経費	1. 特定一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) <span style="float: right;">60,000 円</span>		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	0 円	
① 一括払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	60,000 円 (うち、必須教材費 0 円)	
② 分割払	2. 特定一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) <span style="float: right;">12,860 円</span>		
③ 両方可能	① 任意の教材費(税込額)	2,860 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	10,000 円	
	③ 施設維持費(税込額)	0 円	
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円	
	3. 総額 (1+2) (税込額)		72,860 円

令和5年度 北陸観光コア人材育成スクール カリキュラム

開催場所: 北陸先端科学技術大学院大学、金沢駅前オフィス

期間: 令和5年10月～令和6年1月

定員: 20人

カリキュラム:R6年度北陸観光コア人材育成スクール

分類	講義#	科目名	担当教員・実務家名(敬称略)	教員・実務家の所属	日程	時間	開催地	講義のテーマ
		開講式／オリエンテーション	寺野 稔(挨拶)	北陸先端科学技術大学院大学 学長	10月5日	13時-14時	能美(合宿)	スクールの目的、目標を共有し、受講生間の交流を実施する。
必修	1	導入授業	敷田 麻実	北陸先端科学技術大学院大学 教授	10月5日	14時-15時	能美(合宿)	近年我が国の観光を取り巻く状況と、反転攻勢に向けた政府の施策、そして観光産業を担う人材育成事業についてマクロの視点から解説する。
必修	2	最近の観光の動向について	敷田 麻実	北陸先端科学技術大学院大学 教授	10月5日	15時-17時	能美(合宿)	観光を取り巻く最新の動向をミクロの視点から解説する。
必修	3	トップリーダーの講話と対話Ⅰ (ビジネスメンター)	荒野 高志	株式会社ネクストウェイ 取締役 専務執行役員 CTO	10月5日	18時-21時	能美(合宿)	ビジネスや仕事をどう認識し、その意味をどうとらえているか、これから何をすべきか、何のためにビジネスをするかなど、観光分野で仕事をする際に必要な基本的な思考や思考の背景となる観念を『ビジネス哲学』を通して学ぶ。
必修	4	ファンリレーションマネジメント	徳田 太郎	日本ファンリレーション協会 フェロー	10月6日	9時-17時	能美(合宿)	チームで観光サービスを創り出していくためのファンリレーションスキルを学習し、チームビルディング能力を洗練するためのスキル獲得演習を行う。
必修	5	ホスピタリティイノベーション	信川 景子	愛知東徳大学 教授	10月18日	9時-17時	オンライン	今後の観光で必要になる新たなホスピタリティ概念を学び、受講生同士でディスカッションしながら、イノベーションプロセスを理解する。
必修	6	アカウントing・基礎編	榎原 輝重	榎原輝重税理士事務所 所長	11月1日	10時-17時	ハイブリッド (金沢)	『決算書が読める!』『企業の事業活動を通じて発生した取引が、どのように①貸借対照表、②損益計算書、③キャッシュフロー計算書に記録されるのかを理解している』という定義で、会計の仕組みについて学ぶ。
必修	7	アカウントing・応用編	榎原 輝重	榎原輝重税理士事務所 所長	11月2日	10時-16時	金沢	事業を戦略的に運営して、持続可能にするための財務三表連動モデルについて、実務担当者から学ぶ。
必修	8	ファイナンス	村 俊彦	株式会社CCイノベーショングループ 長	11月15日	10時-17時	オンライン	観光産業、特に宿泊業のような装置産業では、多額の資本が必要であるためファイナンスの知識が不可欠である。装置産業としての観光産業のマネジメントに必要なファイナンスの基礎について学ぶ。
必修	9	DMO・マネジメントⅠ (ケース・スタディ)	佐竹 正範	福井県観光連盟 観光地域づくりマネージャー	11月24日	9時-17時	福井	国内のDMOに目を向け、DMOに期待される役割やDMO組織の必要性、事業展開について、国内DMOの事例(地域DMO) 庄のまひえいDMO(北海道美瑛町)と地域連携DMO(福井県観光連盟)(福井県)などを用いながら産学講義で学ぶ。
必修	10	DMO・マネジメントⅡ (データ分析・活用)	佐竹 正範	福井県観光連盟 観光地域づくりマネージャー	12月1日	9時-12時	金沢	福井県全体アンケートのデータを分析し自ら気づきを得られるワークショップを通じて、データドリブンな観光マーケティングを学習する。
必修	11	イノベーション・マネジメントⅠ	金間 大介	金沢大学 教授	12月8日	9時-14時	オンライン	『企業内起業』をテーマに急激な変化のある社会に対応して、新しいサービスを生み出す「リーダー像」のケースをもとに学習する。
必修	12	イノベーション・マネジメントⅡ	金間 大介	金沢大学 教授	12月8日	14時-17時	オンライン	
必修	13	観光サービス創造マネジメント	白肌 規生	北陸先端科学技術大学院大学 教授	12月20日	9時-11時	ハイブリッド (能美)	新しい観光サービスを創出するための事業創造の思考法を学ぶ。特に、リスクを低減し、チャンスを増大化するための理論を学ぶ。その最新視察の立案に必要な仮説の設定方法、検証プロセスを通じて事業構想の基礎を学習する。
必修	14	ポストコロナ時代の観光サービス創造	赤穂 雄磨	北陸先端科学技術大学院大学 研究員	12月20日	11時-17時	ハイブリッド (能美)	
必修	15	観光サービス創造演習	赤穂 雄磨	北陸先端科学技術大学院大学 研究員	12月21日	9時-17時	ハイブリッド (能美)	新しい観光サービスを創出するためのプランの提示を行い、これまで学んだことを活用したサービスプランの模擬発表を行い、フィードバックを得る。
必修	16	トップリーダーの講話と対話Ⅱ (インバーター)	能作 千春	株式会社能作 代表取締役社長	1月12日	9時-12時	高岡	自社の事業と「地域資源」をつなげて新たな事業を生み出す事例を対話や現場の見学を通じて学習する。
必修	17	ふり返り学習/発表会	敷田 麻実	北陸先端科学技術大学院大学 教授	1月12日	14時-17時	高岡	学習成果のふり返りとそれぞれの学習成果の確認をし、各自の観光事業プランの最終発表会を行う。
		修了式	寺野 稔(挨拶)	北陸先端科学技術大学院大学 学長	1月26日	15時-17時	金沢	履修証明書の授与、記念撮影、優秀者の発表を行う。

※開催地について、能美:石川(能美市)メインキャンパス、金沢:金沢駅前オフィス、福井:AOSSA(予定) 高岡:株式会社能作 (予定) 合宿:能美市ふるさと交流研修センターウェルネスハウス さらい(予定)